



社会医療法人財団 石心会

川崎幸病院

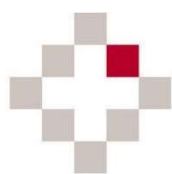


患者支援センター

地域医療連携室ニュース

2021年12月

川崎幸病院 患者支援センター 地域医療連携室 TEL:044-544-4611(代)
〒212-0014 神奈川県川崎市幸区大宮町31番27



川崎幸病院 腎臓内科 診療体制のご紹介



川崎幸病院
腎臓内科部長 小向 大輔

■ 専門分野

腎臓内科一般
ネフローゼ症候群
腹膜透析を含む維持透析管理
膠原病内科一般

■ 学会認定・資格等

日本内科学会認定医・総合内科専門医
日本腎臓学会専門医
日本透析医学会専門医
厚生労働省認定臨床研修指導医

■ 略歴

1998年 昭和大学医学部卒
1998年 昭和大学藤が丘病院 初期臨床研修医
2002年 東芝林間病院 腎臓内科
2006年 富士吉田市立病院 内科
2006年 昭和大学藤が丘病院 内科腎臓
2016年 川崎幸病院 腎臓内科

平素より当科へ数多くの患者さんをご紹介いただき誠に有難う御座います。今年度より診療部長を拝命することとなりました小向大輔と申します。

私が川崎幸病院に赴任した2016年頃、当地域の腎臓内科診療は手薄の状態で多くの腎不全患者さんがかかりつけ医の先生方をお願いせざるを得ない状況でした。現在でも、新たな外来を開設すると瞬く間に予約が埋まってしまい、この地域での腎臓病診療の需要を実感するとともに、まだまだ不十分な体制であることを痛感しています。慢性腎臓病は高齢化に伴って増加しています。多くの高齢者で腎機能が低下しており、腎臓専門医への紹介基準もわかりにくく感じられることもあるのではないのでしょうか。実際、慢性腎臓病診療で行われる腎保護療法の多くは先生方の日常診療の中で行われていることの延長

線上にあり、このような診療の性質上、最も大切なのは専門医とかかりつけ医との間の垣根の低い円滑な連携であると考えます。現在当科は関連施設からの内科専攻医を含む8人体制で川崎市南部地域における腎臓内科診療の中心的機能をはたせるよう診療にあたっています。腎臓病診療の質向上のために努力して参りますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

診療対象疾患

- 急性および慢性糸球体腎炎, ネフローゼ症候群
- 急性および慢性腎不全(慢性腎臓病: CKD)
- 水・電解質・酸塩基平衡異常
- 長期維持透析患者の合併症, バスキュラーアクセストラブル

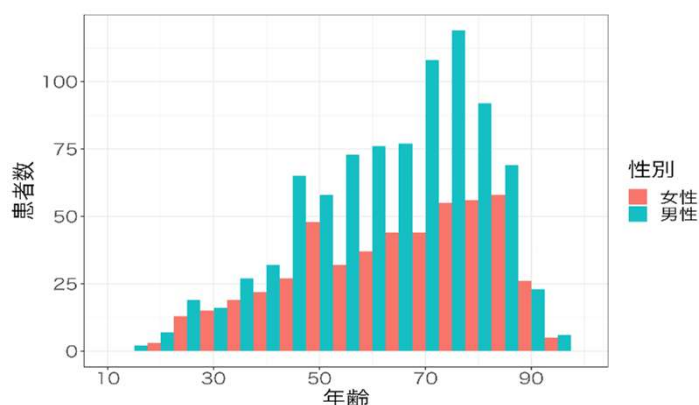


当法人慢性腎臓病（CKD）診療の現況（調査期間2021年4～6月の3ヶ月間）

表1 CKDステージ分類

	G1	G2	G3a	G3b	G4	G5
CKDステージ	正常または 高値	正常または 軽度低下	軽度～ 中等度低下	中等度～ 高度低下	高度低下	末期腎不全
推定GFR値 mL/min/1.73m ²	≥90	60～89	45～59	30～44	15～29	<15

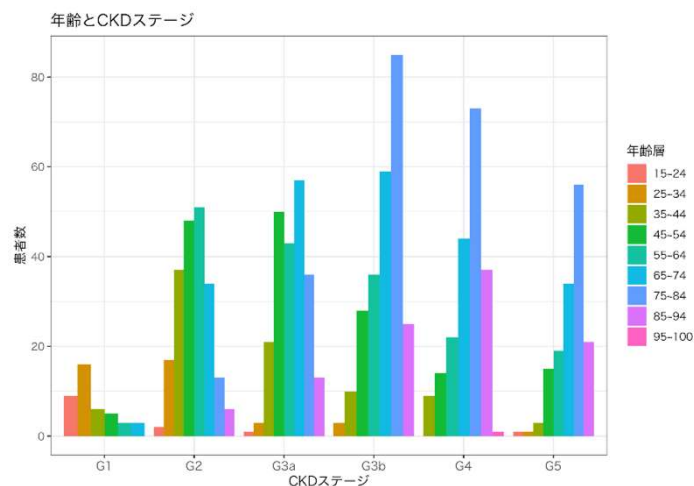
図1 腎臓病外来通院患者数 年齢・性別



日本では成人の8人に1人が慢性腎臓病（CKD）だといわれています。CKDは糸球体濾過量(GFR)で定義され、年齢、性別、血液検査（血清クレアチニン値）から推定することができます。

当法人のCKD診療の実態を評価するため2021年4月から3ヶ月間の川崎幸クリニック、川崎クリニック、さいわい鹿島田クリニックの3施設の患者管理状況を調査しました。

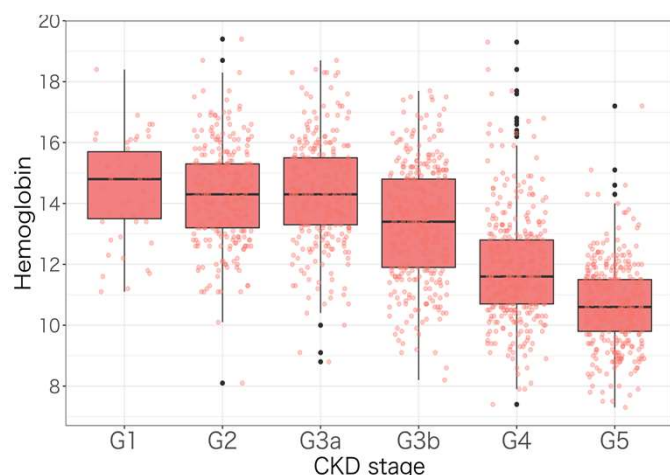
図2 腎機能と年齢の関係



腎臓病専門外来は川崎幸クリニックに医師数7人・7ブース、川崎クリニックに医師数7人・6ブース、さいわい鹿島田クリニックに医師数3人・4ブースを開設しています。

上記の3ヶ月間で外来述べ人数は2936人で（実人数1376人）男性が多く、男性の年齢ピークは70歳後半、女性の年齢ピークは80歳前半でした。（図1）

図3 腎機能と貧血（2021年4～6月）



年齢毎に腎機能を見てみると、高齢群になるほど腎機能の悪い患者さんが多いことがわかります。（図2）

また、腎機能の低下にともなって貧血が進行することが知られています。腎性貧血はさらなる腎機能低下の原因になるばかりでなく、心不全の原因ともなり、専門医の診断と治療が必要です。（図3）

すべてのCKDに専門的治療が必要なわけではありませんが、腎機能低下を指摘された際には一度専門医に御相談ください。



慢性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群、慢性腎臓病

- 腎生検を行って確定診断し、適切な治療法を選択します。
- IgA腎症には扁桃腺摘出術に加え、副腎皮質ステロイドのパルス療法を行います。
- 頻回再発型、ステロイド依存性特発性ネフローゼ症候群の患者さんに対して状況によりリツキシマブ投与を行うこともできます。
- 腎のみならず心血管病のスクリーニングも行います。
- 推算GFRが予想以上に低値と思われる患者さんには外来で「イヌリンクリアランス測定」を行うことにより、「真の」GFRを測定することができます。

■ 治療実績

	2020年度
バスキュラーアクセス造設術	73
シャントPTA	85
透析長期留置カテーテル挿入	21
腹膜透析カテーテル挿入	16

■ 透析導入

	2020年度
HD導入	47
CAPD導入	13

■ 腎生検

	2018年度	2019年度	2020年度
IgA腎症	13	15	12
半月体形成性腎炎	2	1	2
糖尿病性腎症	0	0	2
良性腎硬化症	2	1	0
膜性腎症	0	3	0
Minor glomerular abnormalities	1	0	6
微小変化型ネフローゼ症候群	1	1	0
ループス腎炎	1	0	0
紫斑病性腎炎	0	2	0
肥満腎症	1	0	0
間質性腎炎	1	1	1
菲薄基底膜病	2	2	0
その他	2	3	3
計	26	29	26

右記のような患者さんをご紹介ください

当科に患者さんをご紹介いただく際の、一つの目安としてお考えください。先生方からのご紹介に対して迅速に対応させていただきます。
今後ともよろしくお願い致します。

- ① 0.50g/gクレアチニン 以上、2+以上の蛋白尿
- ② 蛋白尿と血尿がともに陽性（1+以上）
- ③ 推算GFR <50mL/分/1.73m²
- ④ 血圧のコントロールが付きにくい
- ⑤ 腎機能が次第に悪くなる





腎臓内科専門外来のご案内

専門外来を川崎幸クリニック、川崎クリニック、さいわい鹿島田クリニックにておこなっております。患者さんのご都合にあわせて、最寄りの外来クリニックをご予約下さい。また、川崎クリニックではCAPD（腹膜透析）外来を行っております。ご希望の予約が取りにくい場合は、川崎幸病院地域医療連携室までご相談下さい。また、緊急、入院を要する際には川崎幸病院地域医療連携室までご相談下さい。

腎臓内科専門外来担当表（2021年12月現在）

腎臓内科	時間帯	月	火	水	木	金	土
川崎幸クリニック	午前			佐藤 文絵	柏葉 裕	及川 愛	
	午後	小向 大輔	中島 豊	宇田 晋		塚原 知樹	
川崎クリニック ▲腹膜透析(PD)外来	午前	熊田 千晶	宇田 晋	▲山崎 あい	▲中島 豊		中島 豊
	午後		穴戸 寛治	▲小向 大輔	金子 朋広	中島 豊	
			若狭 幹雄		▲中島 豊	▲(併診)酒井 行直	
さいわい鹿島田クリニック ▲2・3週は腹膜透析(PD)外来併診 診療時間はお問い合わせください	午前					▲甲斐 恵子	
	午後	木暮 照子					
	随時	朝倉 裕士（診療日時につきましては、お問い合わせください。）					

★赤字は女性医師です。下線は川崎幸病院常勤医師です。

予約制となりますので下記の予約専用番号へご連絡ください。

川崎幸クリニック

川崎市幸区南幸町1-27-1

午前診療 9:00～12:00

午後診療 14:00～16:30

☎044-511-2112

川崎クリニック

川崎市川崎区日進町7-1

川崎日進町ビルディング6階

午前診療 9:00～12:00

午後診療 14:00～17:00

☎044-222-9259

さいわい鹿島田クリニック

川崎市幸区新塚越201

ルリエ新川崎3階

午前診療 9:00～12:30

午後診療 14:30～16:30

☎044-556-2722



社会医療法人財団 石心会

川崎幸病院

川崎市幸区大宮町31番27

代表

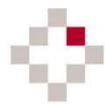
☎044-544-4611

緊急を要する患者の紹介は
下記へご連絡下さい。

地域医療連携室直通

☎044-544-4638





腎臓内科主任部長
宇田 晋

■ 専門分野・得意とする手技

腎臓内科学一般
血液浄化療法

■ 学会認定・資格等

日本内科学会認定医・総合内科専門医
日本腎臓学会専門医・指導医・評議員
日本透析医学会専門医・指導医・評議員
日本腎臓リハビリテーション学会代議員

■ 略歴

1987年 昭和大学医学部卒
1987年 昭和大学藤が丘病院 内科
1989年 昭和大学藤が丘病院 腎臓内科
2001年 神戸大学附属病院 代謝機能疾患治療部
2003年 東芝林間病院 腎臓内科
2006年 関東労災病院 腎臓内科
2015年 川崎幸病院 内科

当科では主に川崎南部地域における蛋白尿、血尿などの尿異常や腎機能低下に対する精査、慢性腎臓病治療を日々積極的に行なっております。今後とも引き続き宜しくお願い申し上げます。



腎臓内科部長
小向 大輔

■ 専門分野

腎臓内科一般
ネフローゼ症候群
腹膜透析を含む維持透析管理
膠原病内科一般

■ 学会認定・資格等

日本内科学会認定医・総合内科専門医
日本腎臓学会専門医
日本透析医学会専門医
厚生労働省認定臨床研修指導医

■ 略歴

1998年 昭和大学医学部卒
1998年 昭和大学藤が丘病院 初期臨床研修医
2002年 東芝林間病院 腎臓内科
2006年 富士吉田市立病院 内科
2006年 昭和大学藤が丘病院 内科腎臓
2016年 川崎幸病院 腎臓内科

腎臓病の診断・治療は発症早期からの行うことが大切です。尿や血圧でお困りのことがあればお気軽に御相談ください。

腎臓内科医長
塚原 知樹

■ 専門分野

急性腎障害
慢性腎臓病
電解質異常
シャントPTA

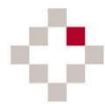
■ 学会認定・資格等

日本内科学会認定医・総合内科専門医
日本腎臓学会専門医
米国内科専門医(American Board of Internal Medicine: ABIM)
米国腎臓内科専門医(American Board of Internal Medicine: ABIM)

■ 略歴

2005年 慶応義塾大学医学部卒
2007年 飯塚病院 初期臨床研修修了
2011年 アリゲニー総合病院 内科レジデント修了
2013年 アイオワ大学病院 腎臓内科フェロシップ修了
2016年 つくばセントラル病院 腎臓内科
2020年 川崎幸病院 腎臓内科

はじめまして、縁あって2020年に川崎幸病院に参りました塚原と申します。ご紹介の患者様のケアに、全力を尽くして参ります。少しでも地域の先生方のお役に立てましたら幸いです。



腎臓内科医師 山崎 あい

■ 専門分野

透析療法

■ 学会認定・資格等

日本内科学会認定医・総合内科専門医、日本腎臓学会専門医

日本透析医学会専門医、日本アフェリシス学会認定血漿交換療法専門医

川崎幸病院病棟と川崎クリニックの腹膜透析外来を担当しています。
地域の先生方と連携しながら、患者さんの診療に取り組んで行きたいと思いますので、
今後ともよろしくお願いします。

腎臓内科医師 柏葉 裕

■ 略歴

2015年 東北大学医学部卒

2015年 川崎幸病院 初期臨床研修医

2017年 川崎幸病院 腎臓内科

びっくりするような好プレーが、勝ちに結びつくことは少ないです。確実にこなさない
といけないプレーを、確実にこなせるチームは強いと思います。(イチロー)
いつまでもそんな診療を心掛けていきたいと思っています。

腎臓内科医師 左近 真生子

川崎市で働き早4年目になります。これからも新鮮な気持ちで地域に貢献できるよう丁寧
な診察を心がけていきたいです。

腎臓内科医師 谷亀 元香

■ 略歴

2017年 帝京大学医学部卒

2017年 帝京大学医学部附属溝口病院 初期臨床研修医

2021年 川崎幸病院 腎臓内科

主に入院患者さんの診療とERを担当させていただいております。患者さん1人ひとりの
気持ちに寄り添いながら、安心して治療を受けていただけるよう心がけています。

腎臓内科医師 下川 麻由

腎臓は様々な臓器の疾患や病態が関与している大切な臓器です。私自身まだまだ未熟で
すが、患者さんに寄り添い、日々精進していきたいと思っています。